



令和5年度 総会開催 個人傾聴 再開しました！

4月21日(金曜日)多数のご出席を賜り「令和5年度ろばの耳総会」を無事に終えることができました。長いコロナ禍で社会活動が一変し、三密の高い傾聴活動は休止を止む無くされていますが、人と人との繋がり切りの大切な今こそ、社会貢献としての傾聴ボランティアの必要性を感じています。

ろばの耳は高齢者施設を訪問しての傾聴活動、ご自宅を訪問しての在宅傾聴、公的なお部屋をお借りしての傾聴サロン、この3つ方法で活動を行ってきました。高齢者施設の訪問はまだ休止していますが、傾聴サロンは昨年10月から、在宅個人傾聴は今年度から、それぞれ感染予防に努めながら再開の運びとなりました。

また、昨年度は田島前代表による傾聴講座を開き、8名の新会員を迎えることが出来ました。コロナ禍で全面休止していた頃から考えますとすこしずつ前進できていると感じています。今年度もろばの耳が“ひとつになつて”前に進んで行ける様に精進してまいります。皆様のご支援とご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



くるめ傾聴ボランティアろばの耳 代表 小田 静代



総会後の合同月例会 新会員さんをお迎えしての自己紹介！



養成講座『やさしい傾聴』

1月27日、犬塚校区コミュニティセンター(城島地区)で、22名の参加者を前に、ろばの耳前代表 田島 清治 講師(80歳)の2時間にわたる、講演が行われた。

“なぜ今傾聴が注目されているのか” “生きていく上で傾聴(受容・傾聴・共感のスキル)の必要性”、“人生100年時代の社会人基礎力”など多彩な内容であった。

ご自分の傾聴ボランティアの体験の中で、色々な方の生き方に接して、話に耳を傾けることは、自分自身を見つめなおす機会ともなったこと。

自分がどのように生きるか？

ボランティア活動を通じて生涯にわたって学習し続けることで、成長する自分の5年後、10年後を見据えてほしい。そうして、いつまでも社会との関わりを持つことが豊かな老後を過ごすためにも必要なことではないかという熱いメッセージが伝えられた。



講演会 グリーフケア“悲しみをかかえた方へのかかり方”

古賀 千鶴 講師(グリーフケア専門士)



〈参加者の話〉

Aさん 悲しさや辛さは、その人のものであり、代わることはできない。ただ、心を傾けて相手に寄り添いひたすら話を聴くことが大事だと教えて頂きました。

Bさん 講習の中で敬和敬聴の練習をしました。2人組になり、3分間相手の話を遮ることなく、肯定のあいざちだけで聴く練習です。妨げ無くひたすら3分間話すのは、心地よく、時間がとても短く感じました。

楽しかった！4年ぶりの『お花見』

3月30日、お天気は花曇り、暑くもなく寒くもなく桜花爛漫の下でに楽しいひと時を過ごしました。4年ぶりのお花見の宴、待ちに待っていらしたのでしょうか、26名の会員さんが参加されました。美味しいお弁当を食べながら楽しいお喋りで盛り上がりました。また、小林美代子さんによる聞き手参加型の絵本（ねこのピートだいすきなしろいくつ）の読み聞かせ！最後にみんなで歌いました。猫のピートの生き方“**なにがあってもすすんでいこう**”というメッセージは今のろばの耳にピッタリのお話でした。



皆さんの健康とろばの耳の今後の活躍を祈って「乾杯！」



早くお弁当食べたいな～



来年も皆、元気で花見に参加しましょう！



絵本を読みま～す。皆さん参加してくださいね



“願ったり叶ったり”のお弁当美味しかったね～



聴く力を磨くコツ
中村さんのご好意で会員の皆さんに配布しました。皆で頑張ってお勉強しましょう！



月例会ではこんなテーマでディスカッション
♡皆さん参加してください♡

- 2022年06月：『反応が少ない方との傾聴について』
- 2022年12月：『助言やアドバイスについて』
- 2023年02月：『傾聴ボランティアについて』
- 2023年03月：『傾聴と会話について』

寄付者ご芳名

今里 敬子 様、今村 美恵子 様
小宮 良俊 様、 山下 静江 様

ありがとうございました！

くるめ傾聴ボランティアろばの耳 会員募集
特別な資格は要りません
基本的な態度と姿勢、一通りの基礎知識を身につければ、どなたでも活動できます。ろばの耳の「傾聴活動」は、日常の生活で「人の話を聴く」ことにも生かされ、笑顔で過ごせるようになります。

連絡先 ろばの耳事務局
☎ 090-9796-8361